本文1～2枚目（原稿の分量に含めない）

論説

日本語タイトル

英語タイトル

キーワード：

（日本語キーワード5つ程度）

keyword：

（英語キーワード5つ程度）

第一著者所属　氏名

著者所属　氏名（英語表記）

要　約

（600字程度）

Abstract

（250Words程度）

**1 はじめに**

本文3枚目以降：A4判　1頁　1行22文字×38行，2段組み，12ポイント

　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**2 章タイトル**

**2.1 節タイトル**

**2.1.1　項タイトル**

　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**2.1.2　項タイトル**

　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

原稿の体裁，図・表の表記などの執筆にあたっての詳細については，学会ホームページに掲載の執筆要領に示されております。そちらを十分にご確認ください。原則として，この書式を用いて（もしくはこの書式に準じて）原稿をご執筆下さい。

（１）原稿の1～2枚目には，原稿のタイトル，要約ならびにキーワードを記述する。要約は原稿全体の内容をレビューしたもので，日本語600字，英語250ワード程度とする。また，キーワードは原稿全体の内容の特徴を表す用語のことであって，日本語，英語とも，その数は5つ程度とする。なお，原稿の1～2枚目は分量に含めない。

（２）原稿の本文は3枚目から開始し，それを１ページ目として，以下通し番号を付す。本文後の謝辞，注，参考文献，付録，図表をこの順に続ける。各項目の書き出しにあたっては用紙を改めること。なお，本文において著者が特定できる記述は避ける。

**注**

(1)＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

(2)＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**参考文献**

参考文献の記載例：

鈴木一郎（1986a）「社会と情報」，『社会情報』1，pp.14-23.

鈴木一郎（1986b）『情報論』社会書房，240p.

Winston，P.（1981）Social Planning and Information，Social Information Science 6，pp.116-25.

Yamada，S. et al.（1986）Intelligent Building，Academic Press，New York，445p.

山本太郎（1985）「社会情報に関する研究」，『社情報』2，pp. 32-40.

山本太郎・鈴木一郎（1985）『社会情報学』社会書房，270p.

インターネット上に置かれた文献の記載例：

鈴木一郎（1996）「社会と情報」，

<http://www.abc.ac.jp/Social/abc.html>

Accessed 1997, April 29.

Winston，P.（1981）Social Planning,

<http://www.abc.edu/Social/abc.html>

Accessed 1997, April 29.